

学校名：中央区立銀座中学校

所在地：中央区銀座8-19-15

校長名：平松 功治

生徒数：432名 学級数：15学級（特別支援学級3）教員数：28名 職員数：18名

保護者・生徒・教員の学校評価アンケート(令和5年12月実施)結果より

グラフの見方

肯定

肯定的

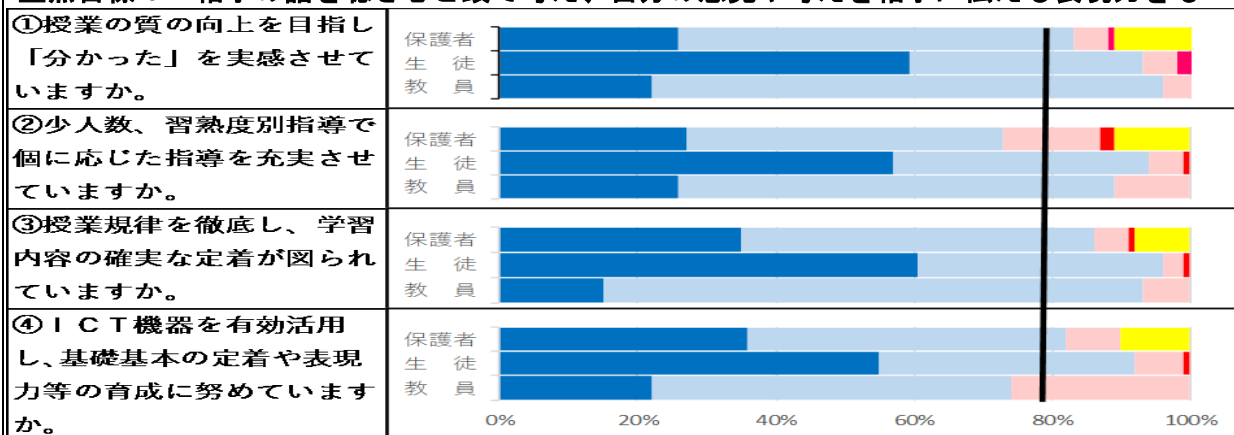
否定的

否定

分からない

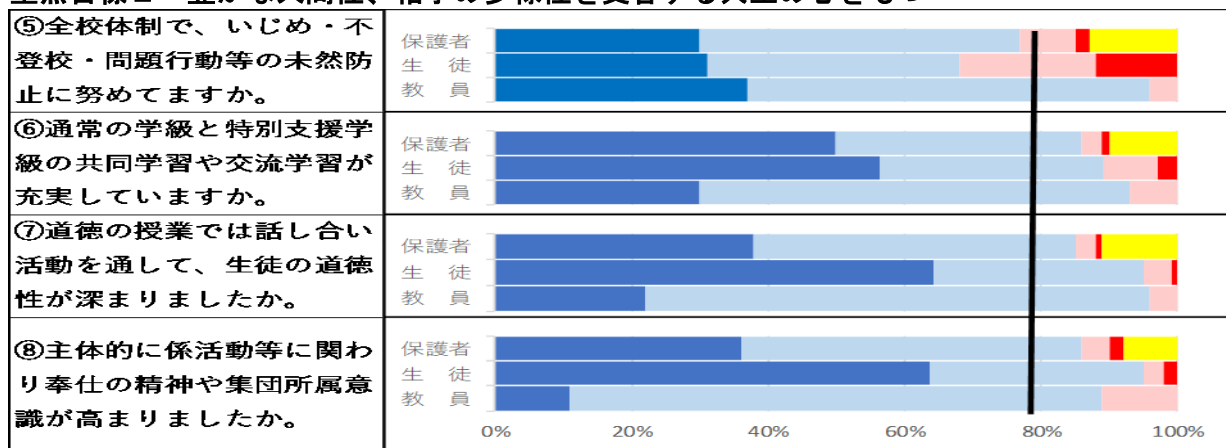
1 重点目標の達成状況及び取組状況

重点目標1 相手の話を聴き心と頭で考え、自分の意見や考えを相手に伝える表現力をもつ



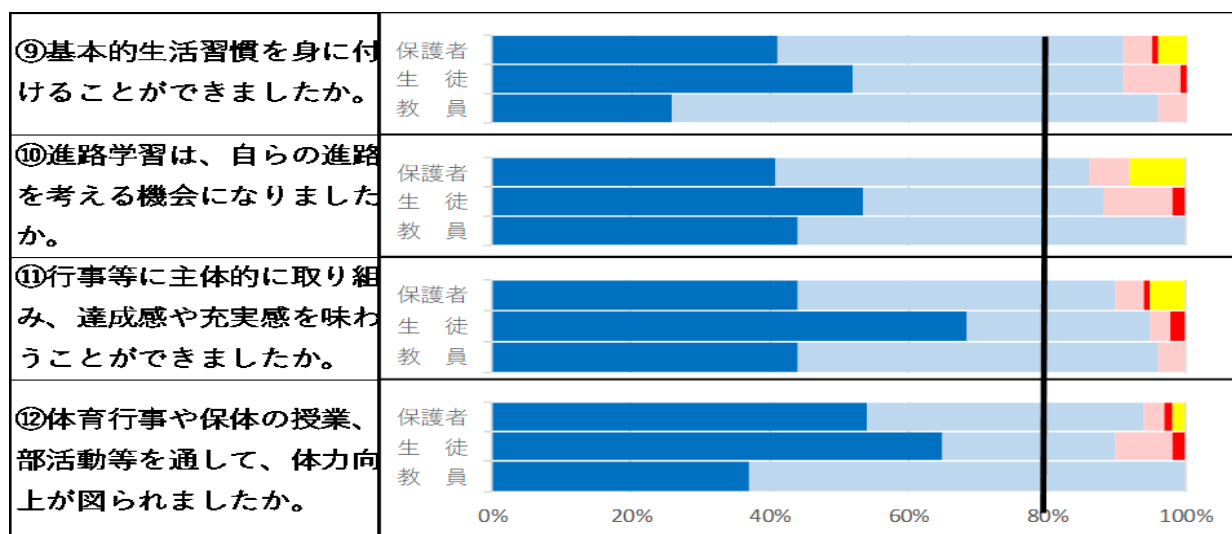
多くの項目で三者の肯定的回答が80%を超えた。どの質問項目も生徒の自己評価が高く、日々の授業を大切に思う気持ちを生徒がもち、落ち着いて学習に取り組んでいる様子が結果から伝わる。また、「①分かったの実感」を90%以上の生徒がもっている結果は、話し合い活動の充実やICT機器の有効活用など授業の質の向上を目指す令和4・5年度区研究奨励の研究推進の成果である。生徒がより主体的にICT機器を学習に活用する能力を育てたい。

重点目標2 豊かな人間性、相手の多様性を受容する共生の心をもつ



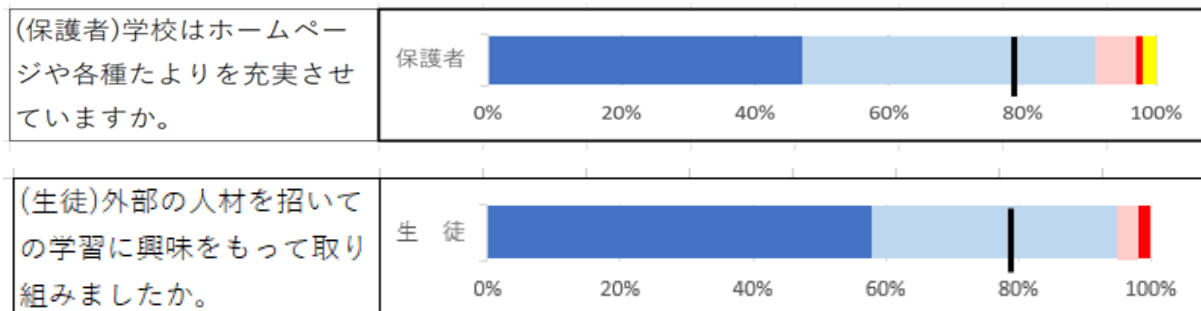
本校の特色である「⑥通常の学級と特別支援学級との交流学習」は、互いの良さを認め多様性を受け入れる共生の心を大きく育てたと三者が評価している。授業公開で道徳の授業を多く実施することで、「⑦道徳の授業」の保護者評価の「分からない」の割合が大きく改善した。一方、他の結果に比べ「⑤いじめ等の未然防止の取組」を問うアンケート結果の数値が高くない。生徒が安心して学校に通えるよう、今後も全校体制で、いじめ不登校の未然防止に努め、生徒一人一人に寄り添った指導を進めていきたい。

重点目標３ 強い意志と身体、基本的な生活習慣や社会性をもつ



「授業を大切にすることで学力が身に付き、その力を行事という実践の場で発揮し、生きた学力を身に付ける」という「銀座中学校の正のスパイラル」が、しっかり機能した様子が、「⑩進路学習の取組の満足度」、「⑪行事の達成感や充実感」の肯定的評価の数値の高さから読み取れる。また、すべての教育活動を支える「⑨基本的な生活習慣の定着」の肯定的評価も三者とも高い数値で、本校生徒が落ち着いて学習に取り組む様子が結果に表れた。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況



保護者アンケート「ホームページ、学校だより、Classroom、学年通信等の各種たよりの充実」については、肯定的な回答が80%を大きく超えた。「学校情報の発信」はClassroomで配信を充実させ、来年度以降もタブレットを有効活用していきたい。

生徒アンケートの「外部人材を招いての学習活動への取組」について、95%と大変高い肯定的評価になった。特に3年生は卒業期に合わせ「銀座」を知る地域理解教室として、歌舞伎や浄瑠璃等の伝統芸能を卒業生や保護者から学んだ。

3 今後の改善方策

- ・生徒の自己有用感を高める銀座中学校「正のスパイラル」の推進
- ・生徒がタブレット端末を主体的に活用する学習環境の充実
- ・生徒の豊かな心と基礎学力を高める読書活動の充実